



さけ子

消費者月間にはどんなことをするギョ?

石狩市消費生活センターのオープンを記念して 「石狩市消費者大会」を開催します

毎年5月は消費者庁が主唱する消費者月間です。市では下記のような最新の消費者トラブル事例のパネル展や講演会を開催します。この機会に日常生活での消費者トラブルの未然防止について一緒に考えてみませんか? **申込・問合せ** 広聴・市民生活課 ☎72・3191

○消費者トラブルの事例紹介と相談員によるご案内です

場 所	期 間
浜益支所 (浜益区浜益2・3)	5/ 9 (火) ~11 (木)
厚田保健センター (厚田区厚田45・5)	5/12 (金) ~16 (火) ※土・日曜除く
花川南コミセン (花川南6・5)	5/17 (水) ~23 (火) ※土・日曜除く
りんくる (花川北6・1)	5/24 (水) ~31 (水) ※土・日曜除く

- 各日11時~15時まで相談員がご案内します。
- 事例紹介のほか、出張相談窓口を開設します。
5/11 (木) 浜益支所
5/16 (火) 厚田総合センター
5/23 (火) 花川南コミセン

○消費者トラブルに関する講演会があります

日 時 5/31 (水) 13時30分~15時30分
場 所 りんくる (花川北6・1)
講 師 弁護士 原 琢磨氏
定 員 30人 ※要申込 **申込期限** 5/24 (水)

○消費者問題に関する本を紹介します

市民図書館特集コーナー
日 程 5/16 (火) ~31 (水)
※図書館休館日は除く
場 所 市民図書館 (花川北7・1)

石狩市公認キャラクター

さけ太郎&さけ子の

ギモンに答えて!



さけ太郎

さけ太郎も市民文化祭に参加したいギョ!

第62回石狩市民文化祭~参加者を募集します~

「市民による手づくり文化祭」にあなたの作品・舞台発表で華を添えてみませんか?

世代を越えて、皆の成果が詰まったイベントです。きっとすてきな思い出に…。市民文化祭であなたの活動を発信して交流しましょう。文化・芸術活動に親しまれている市民の方であれば、どなたでも参加できます。日ごろの成果を発表しませんか? 初めての方も大歓迎です。

対 象 文化・芸術活動に親しまれている市民の方 (個人・団体不問)
内 容 ①展示部門: 絵画・写真・書道・文芸・陶芸・手工芸・彫刻など
②舞台部門: 日本舞踊・伝承芸能・洋舞・器楽演奏など

実施日時・場所 ①10/13 (金) ~15 (日) 花川南コミセン (花川南6・5)
②10/14 (土)・15 (日) 花川北コミセン (花川北3・2)

申込方法 所定の申込書を5/19 (金) までに提出
※申込書は市内公共施設、あい・ボード、市HPから入手可

費 用 1人200円 (中学生以下は無料)

申込・問合せ 石狩市民文化祭実行委員会事務局 (社会教育課内) ☎72・3173 FAX 74・2249



あなたが伝えたい・残したい、石狩の自然や歴史を教えてください。
みんなで考える「石狩遺産」募集中! (詳細は27ページへ)

不老不死のクラゲ

春から夏にかけて、石狩の海にはいろいろなクラゲがやってきます。手のひらくらいの大きさのミズクラゲやオワンクラゲは、見たことがある人も多いでしょう。でも実は、石狩の海辺ではほかにもいろいろなクラゲを見ることが出来ます。その多くは直径が1〜2cmしかないために、気づいていないだけなのです。

2016年の初夏、波打ち際で水中を観察していると、赤い粒がたくさん漂っているのに気がきました。顔を海面に近づけてよく見ると、小さなクラゲの大群でした。ベル型の傘の直径はわずか5mm以下、体の内部は鮮やかな紅色。ベニクラゲです。世界中の海に生息しているのですが、石狩では初めて確認しました。ベニクラゲは注意しないと見逃すような小さなクラゲですが、近年、世界で注目を浴びています。その理由は「不老不死」だからです。

クラゲは一生のうち何回か、姿と生活のしかたがガラッと変わります。生まれてすぐは小さなプランクトンとして水中を漂いますが、その後、岩など硬いものに付着して「ポリプ」となります。小さなイソギンチャクのような状態です。その姿でしばらく過ごした後、いくつも分裂して水中に切り離され、パクパクと脈動しながら漂う状態になります。「クラゲ」と言っているのは、本来はこの段階のことを指しているのです。こ

のクラゲが成熟するとオスとメスとで受精・産卵し、一生を終えます。

ところがベニクラゲは、クラゲ状態からポリプ状態へと戻ることがあるのです。大人から子どもへの「若返り」です。ストレスを受けたときにそのような現象が起きるそうで、ポリプからまた成長・分裂し、再びクラゲになっていきます。この若返りは何度も繰り返すことが可能らしく、この現象を研究している京都大学では1匹のベニクラゲを10回以上若返らせることに成功しているそうです。将来的に生命の老化現象の解明につながると思われるかもしれません。

もしかしたら将来、人間も若返ることができるようになる? そんな夢を見せてくれるクラゲ、今年もまた石狩にやってくるかもしれません。石狩の海辺は未知の世界に遭遇できる、貴重な場所。石狩の自然遺産として残していきたいです。

(志賀健司)

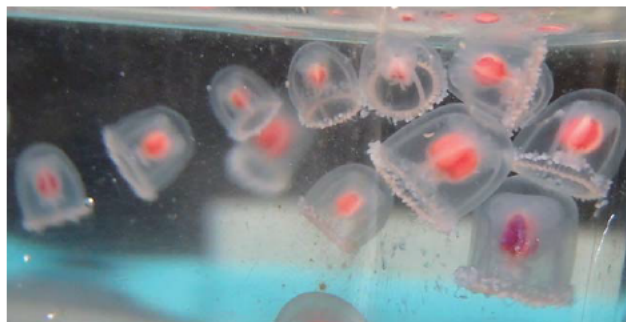
※全てのクラゲは毒を持っています。専門家の指導なしに触らないよう注意してください。



ミズクラゲ(左)とアカクラゲ。
アカクラゲは猛毒を持っていて危険です。



ウラシマクラゲ。直径1〜2cmの小さいクラゲは、春から夏の石狩湾にたくさんやってきます。



ベニクラゲ。直径5mm以下で、内部は鮮やかな紅色をしています。



石狩市学芸員
志賀健司 Kenji Shiga

専門は地質学・漂着生物学・海辺学。地球の環境の変遷などを調べるとともに、石狩の浜辺にどんなものが漂着し、それがどんな意味を持っているかを研究している。

文化財課 いしかり砂丘の風資料館 ☎62・3711

「いしかり博物誌」は、えりすいしかりネットテレビ(<http://www.i-eris.tv/>)でもご覧いただけます。